

平成 31 年 1 月 24 日 00414 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】

北見居合道連盟が恒例の『初抜き会』市武道館で！

1 月 1 7 日 (木) 北見市武道館道場 3 に於いて北見居合道連盟 (三浦清富会長) による稽古始め『初抜き会』が行われました。お供えの鏡餅に向かって刀を振り下ろす居合特有の「鏡開き式」が行われるなど、10 代から 90 代の会員 12 名が気迫のこもった居合の演武を行い 1 年間の安全と精進を祈願し晴れやかな初抜き会となりました。



小さなお客様！萩原杏華ちゃんと萩原なぎちゃん



窓口に、萩原杏華 (はぎわらきょうか) ちゃん七歳と萩原なぎ (はぎわらなぎ) ちゃん五歳が来てくれました。二人姉妹で姉の杏華ちゃんは三年前から柔道をはじめ妹の「なぎちゃん」は一年前から有段者のお父さんと一緒に柔道を始めました。姉の杏華ちゃんは活発なのか時々窓口に来ては積極的にスタッフに話しかけてきます。赤いほっぺに満面の笑顔で話しかけると、忙しいスタッフもついつい話に乗ってしまいます。妹「なぎちゃん」は慎重派に見えます。こちらからの話にも中々乗ってきません。最近では父親と離れ姉と一緒に広場を走り回る姿を見かけます。お話も少しするようになっていきます。二人は、いずれは強いお父さんに見習って活躍することでしょう。陰ながら応援したいと思います。

武道振興協会事務所の花シリーズ 「母の形見のハイビスカス」

ハイビスカスは南国の花のイメージですが、生前母はハイビスカスを毎年咲かせて楽しんでいました。40 年前に母が他界し、この花が形見となりました。年に 2 回赤い花を咲かせます。毎年 9 月には植え替えをして大切に育ててきましたが、昨年 10 月、



ねずみに根を全てかじられ、いそいで新芽を挿し木したところ 11 月には土に植え替えることができました。枯れる寸前でしたがクリスマスの日、また綺麗な花を咲かせてくれました。(坪井)

連載「武道宝鑑」第 21 弾「竹内流腰廻りより講道館柔道まで」(7 回目) 講道館七段 櫻庭 武

この関口流からは、之も有名なる渋川流が出で、同じく広く行われた。両流ともに今日なおその伝えを存している。関口流の創始と相前後して存したと思われるものに、浅山一伝流、吉岡流、藤山流などがある。一伝流は今日もなお存し、元禄年間右の流を取捨綜合して工夫せる為我が流は、特に水戸藩に行われ、今日まで系統をたため。従来人口に膾炙せる陳元賛の歸化は、之等よりやや後れた萬治二年であったといわれる。即ち徳川四代将軍家綱の治世で、この者が・・・つづく